

第3回全国高等学校情報教育研究会石川大会の報告

千葉県立柏の葉高等学校教諭
滑川 敬章

1. 大会の概要

全国高等学校情報教育研究会が主催する「第3回全国高等学校情報教育研究会石川大会」が、金沢工業大学を会場に、8月20日(金)～8月21日(土)の日程で行われた。平成20年の東京大会、平成21年の茨城大会に続いて3回目となり、全国の情報教育関係者が一堂に会し、講演、研究発表、協議、情報交換を通して、これからの教科「情報」の在り方や課題解決の方策を探り、実践的指導力の向上を目指す、という目的で実施された。

今回の大会テーマは、『ICTコンパス - 新たなる風 -』。初めて関東以外での実施となり、日程も2日間(1日目の午後から2日目の昼まで)に及ぶものであったが、約200名の参加者で盛り上がった大会となった。

2. 大会1日目

1日目は、以下の日程で行われた。

- 13:00～13:30 開会式、総会
- 13:30～15:00 基調講演
- 15:00～17:00 ポスターセッション
ワークショップ

2.1 基調講演

『新学習指導要領と教科「情報」～問い直せ！情報教育～』というタイトルで、文部科学省初等中等教育局視学官の永井克昇氏よりご講演をいただいた。情報活用能力は、「読み・書き・計算」に並ぶ4番目の基礎力であり、国民必須の基礎的・汎用的能力の一つであるとお話しされていたのが印象に残ってい

る。3つの観点をバランスよく身に付けさせる「日本型情報教育」の大切さを再認識した。

2.2 ポスターセッション

ポスターセッションでは、13件の発表があり、授業実践の報告などが行われた。授業ですぐに活用できそうな実践も多くあり、非常に参考になった。例えば、愛知県立天白高等学校の近藤敏文先生が発表されていた、ディスプレイケーブルの途中を加工してRGBの信号ケーブルを取り出し、各色の信号を接続・切断できるようにしたものは、とても簡単にできて面白いアイデアであると感じた。全国高等学校情報教育研究会のウェブサイト¹⁾上に当日の資料等が掲載されているのでぜひ参照してほしい。



図2 ポスターセッションの様子

会場では企業による教科書や教材、新型電子黒板の展示なども同時に行われていた。その中には、アルゴロジック²⁾というアルゴリズム体験ゲームについての展示もあった。プログラミングの基本となる論理的思考をゲーム感覚で学べるもので、ブラウザ上で動作する。高等学校や大学での授業実践の報告もあり、実際にやってみた生徒からは、「難しいけど楽しかった」などの声があった。当日は、開発に



図1 基調講演の様子

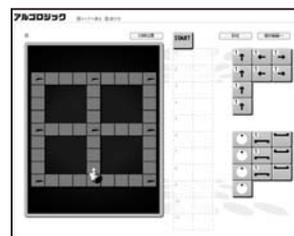


図3 アルゴロジックの画面

携わっている方がわざわざ東京から駆けつけて説明されていた。

2.3 ワークショップ

ポスターセッションと並行して「アルゴリズム的思考による計測制御」というワークショップが行われた。大阪府立東百舌鳥高等学校の稲川孝司先生によるもので、プログラミング学習用のラインレースロボット³⁾の教材としての可能性を検討するというものである。無料のソフトウェアを利用して、マウスで命令を並べてフローチャートを作成することで簡単にプログラミングすることができる。実際に車が動き、センサーによる制御もできるので、楽しくプログラミングが学習できそうな教材であった。

2.4 教育懇談会

ポスターセッションの後、バスで会場を移動して教育懇談会が行われた。80名ほどの参加者で活気ある会となった。このような会は全国大会での一つの楽しみでもある。他県の先生方といろいろな情報交換を行うことができ、貴重な時間となった。

3. 大会 2 日目

2 日目は、分科会と全体会が行われた。日程は以下のとおりである。

9:30 ~ 12:05 分科会

12:10 ~ 12:40 全体会

3.1 分科会

分科会は「情報モラルと問題解決」、「メディアとコミュニケーション」、「情報の科学的理解」、「研究会・専門教科の取り組み」の4つに別れ、1件につきおよそ30分、4件ずつ発表が行われた。

それぞれの分科会から発表のタイトルをいくつか紹介すると、『普通教科情報における「個人情報・プライバシー・肖像権」に関する授業実践』、『マルチメディア系科目の「実技試験」と「プレゼン試験」』、『情報の科学的理解を助ける自作教材や小道具』、『モ



図4 分科会の様子

デル化とシミュレーションについての実践～数式モデル、ドリトルを利用した車型ロボットの制御等の実践報告～』、『情報機器を利用する上でのコミュニケーションの工夫』などである。

毎年のことであるが、どの分科会も興味深い内容で、どこに参加するか悩んでしまう。分科会に分けなければいいのと思うこともしばしばあるが、時間も限られているのでしかたがない。残念ながら紙面上では紹介しきれないので、大会のウェブサイト¹⁾に掲載されている資料を参照してほしい。

3.2 全体会

各分科会での発表や質疑の様子などについての簡単な報告と、群馬県立万場高等学校の藤岡良一先生から「情報の授業における生徒のニーズ～情報の授業の在り方について～」という発表があり、今年度の大会は終了した。



図5 全体会の様子

4. 次回の大会に向けて

全国大会も3回を終え、関係する各都道府県の研究会も年々増えてきている。来年度は、平成23年8月5日(金)～8月6日(土)の日程で、大阪で行われることが決まっている。交通アクセスのよい場所であるので、今まで参加しにくかった先生方も多く参加されて、300名を超える大きな大会になるのではないと思う。

今後も、この大会が教科「情報」を担当する先生方の研究協議や情報交換の場として益々発展していくことを期待している。まだ参加されたことのない先生方は、ぜひ来年の大会に参加してほしい。

参考 URL

- 1) 全国高等学校情報教育研究会
<http://www.zenkojoken.jp/>
- 2) アルゴリズム体験ゲーム・アルゴロジック
<http://home.jeita.or.jp/is/highschool/algo/index.html>
- 3) [Beauto Racer] メインページ
<http://www.vstone.co.jp/robot/beautoracer/>